

様式 1

授業科目 解剖生理学 II

科目コード番号

【担当教員名】 川中 健太郎	対象学年	1	対象学科	栄養
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要及び学習目標】

<概略>

前期の解剖生理学 I に引き続いて、解剖生理学 II では同じテキストを用いて講義を行います。解剖生理学 II では、1) 栄養素がどのような仕組みで消化・吸収されて身体のエネルギー源として利用されるのか、また、2) 栄養素は代謝された後、どのような仕組みで排泄されるのか、さらに、3) 栄養素や酸素を身体各部に供給する心臓と血液の循環機能について、主に学習します。

<学習目標>

1. 解剖学、生理学、特に栄養生理学的な基本知識の理解
2. 生活習慣病の成り立ちを生理学的に説明できるようになる

回数	学習の主題	学習内容	学習方法
1-5	消化と吸収	食物中の栄養素が、口腔内、胃、小腸において消化、吸収される仕組み。 栄養素が吸収された食物が大腸から肛門を経て排泄される機能。 栄養素の貯蔵庫、あるいは排泄物を合成する肝臓の働き。	講義
6-7	心臓	心臓の構造。 心拍動のしくみ。 心機能の反射による調節。	
8-9	血管	血管の構造と分布 毛細血管における物質交換。 血圧調節	
10-11	免疫	高血圧による動脈硬化 免疫システムの概要 リンパ管	
12-13	泌尿器系	腎臓における尿生成 尿排泄の調節	
14	内分泌系	ホルモンの分泌と作用	

【評価方法】

出席および期末試験

【履修上の留意点】

【使用図書】

教科書・参考書等	書名等	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	新しい解剖生理学	山本敏行 鈴木泰三 田崎京二	南江堂	
参考書				
その他 (プリント等)	毎回プリント資料を配布			